

知多北部広域懇談会広報誌

第8号(平成18年3月3日)発行 知多北部広域懇談会



法定合併協議会 へ移行決議

12月16日開催の
第16回知多北部任意
合併協議会で

―焦点は、各市町の
議会決議へ―

合併する場合、我々商工業者にとつての最大の関心事は次のことではないでしょうか。

〈事業所税〉

人口30万以上の市になると、政令により指定されれば、事業所税(市税)が課税されます。

〈この税の種類〉

目的税です。その目的は、産業基盤や社会福祉・環境施設等のインフラ整備に使われます。よって新市における外部経済の観点からの検討も必要になると思われ

〈課税対象〉

事業所床面積1,000㎡超または従業者数100人超で事業を行う市内の法人や個人

〈年税額(税率)〉

年税額=資産割(事業所床面積1㎡につき600円)
+従業者割(従業者給与総額×0.25%)

本

年度の役員合同視察研修はガラス瓶再生事業の見学でした

1月26日木曜日、厚い雲が広がる冬空の下、3市1町の参加者一行は35名、東海地区で最大級といわれるガラスリサイクル再商品化施設を見学しました。

東浦町のトーエイ株式会社は東浦町商工会の副会長今津昭氏の経営する総合廃棄物処理業。取扱品目は一般廃棄物から産業廃棄物まで年商は約20億円、従業員数は約200名です。

本社会議室にてDVDによる会社概要説明とガラスリサイクルの仕組みを解説いただいた後、東浦町藤江南栄町地区内の新工場をつぶさに見学させて頂きました。

敷地は約四千八百平方メートル、投資額は用地取得費を含めて4億円強。8時間稼働で日量四百トンの処理能力があるそうです。現在は埋め立て処分される一部の色付きガラス瓶やガラスくずを特殊な破砕機で砕き「リサイクルガラス造粒砂」に再商品化するものです。ガラスリサイクルでノウハウを持つ廃棄物処理のベンチャー企業、ガラスリソーシング(千葉県銚子市)と技術提携し改良を加えた最新設備の工場です。10ミ以下の砂粒状に加工され鋭利な角を削り

取る独自のノウハウがあり、手で触っても怪我の危険がない心遣いは心憎いと思つたものです。
施設見学後はトーエイ本社に戻り5階大会議室にて交流

会が開催されました。知多北部任意合併協議会による住民意識調査結果の公表もあつて参加者による活発な意見交換が行われていました。

